

多文化共生事業事例集

年度

30

団体名

福岡県福岡市

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

ジャンル

事業費総額 1,600 千円

日本語教育

事業名

「やさしい日本語」推進事業

特徴

外国人が福岡市で生活する時に知っておきたい情報を、ラジオ放送（音声）とホームページ（音声と文字）を活用し「やさしい日本語」で提供。

事業のポイント

◇必要な情報を、日本人と外国人の二人の会話により提供するものであり、楽しく日本の習慣を学ぶことができる。

◇音源をアーカイブ化し、ホームページにアップロードしているため、繰り返し何度でも聞くことができる。

事業の背景・目的

【背景】

◇福岡市では、130 を超える国・地域出身の外国人が生活しているため、多言語対応に加え、やさしい日本語による情報提供を強化することとした。

◇やさしい日本語は災害時の情報発信で有効だが、その効果をさらに高めるためには、日頃から「やさしい日本語」に触れる機会が必要である。そのためには、いつでも、どこでも、情報に触れることができる状況を作り出す必要があった。

【目的】

◇福岡市で暮らす上で必要な情報を「やさしい日本語」で提供することで、外国人の日本語による情報収集力の向上をサポートする。

◇日本人に対しても「やさしい日本語」の概念や有効性を知ってもらい、情報提供やコミュニケーションでの活用を促進する。

事業の概要

◇「やさしい日本語」ラジオ講座

場面別会話例（市役所窓口手続、ルールマナー、公共機関利用、災害発生時の行動等）を「やさしい日本語」で作成し、FMラジオで放送するとともに、音源をアーカイブ化し、ホームページへのアップロードを実施した。

https://lovefm.co.jp/yasashii_nihongo/blogs

◇スケジュール

平成30年4月～平成31年1月末

毎週金曜 11:55～12:00

（毎月第1・3金曜が新規、第2・4が再放送 ※4月除く）

◇事業実施地域

福岡県全土、熊本県、長崎県、佐賀県、大分県、山口県の一部

◇事業の相手方（連携団体）

ラブエフエム国際放送株式会社

◇事業対象者

生活者としての外国人（福岡市在住）及び日本人



ラジオ番組広告



ラブエフエムラジオブース

事業実施における工夫点・事業の成果等

◇ラジオ講座内の場面会話の作成に際しては、『「生活者としての外国人」に対する日本語教育プログラムの実践のための5点セット（文化審議会国語分科会作成）』を参考に、「来日間もない外国人が生活上の基盤を形成するために必要であると思われる」内容を想定し作成した。

【放送内容】

- ①各種手続き（転入・転出・外国人登録等）をする
- ②自己紹介をする
- ③ゴミ出し（ゴミの分け方）について理解する
- ④交通ルールを順守する（場面：自転車マナー、飲酒運転）
- ⑤公共マナー（ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止）を理解する（場面：歩きタバコ禁止）
- ⑥公共マナー（ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止）を理解する（場面：騒音）
- ⑦日常生活の中で日本語を学習する（場面：地域の日本語教室に参加する）
- ⑧病気を予防する（場面：検診を受けましょう）
- ⑨避難場所・方法を確認する（場面：避難場所でのワンシーン）
- ⑩地震発生時に適切に行動する（場面：地震について理解する）
- ⑪地震発生時に適切に行動する（場面：身を守る、避難する）
- ⑫引っ越しをする（場面：粗大ごみ回収）
- ⑬対面販売で購入する
- ⑭運賃を支払う・切符を購入する
- ⑮飲食店を利用する
- ⑯郵便を利用する（場面：郵便物を受け取る）
- ⑰異文化コミュニケーションについて理解する（場面：気持ちを伝える）
- ⑱異文化コミュニケーションについて理解する（場面：日本の習慣や作法）
- ⑲自治会行事に参加する（場面：地域の交流事業に参加する）
- ⑳自治会行事に参加する（場面：地域の清掃、防災訓練等に参加する）



番組ホームページ（ラブエフエム）

◇在福岡米国総領事館の公式 Facebook に取り上げられ、紹介された。

今後の課題・将来に向けての展望等

留学生が多いという特徴がある福岡市は、毎年外国人が入り替わるため、継続して情報提供を実施していく必要がある中、本事業の成果品を来年度以降も活用すれば、労力・費用を節減して実施することができる。

今後も在住外国人数の増加が予想される中、引き続き「やさしい日本語」を活用した情報提供や日本語習得支援に取り組むとともに、日本人市民と外国人のコミュニケーションのツールとして活用されるよう、啓発に取り組んでいく。

事業担当者のふりかえり

- ⇒ 福岡市は市内及び市周辺に55の日本語教室があるが、開催場所や時間を理由に通えていない外国人も一部いる状況がある。そのため、やさしい日本語とラジオ放送の音源、ホームページを連動させ、時と場所を選ばない日本語習得と日本語による情報収集のサポートを行うこととした。
- ⇒ 本事業によって外国人が日本の習慣やマナーを知ること、福岡市で安心して安全に暮らすことにつながり、また、日本人とも「やさしい日本語」で意思疎通を図ることができるようになることで相互理解が進めば幸いである。